

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：平成30年 12月 10日

事業所名：おりーぶ瑞ヶ丘

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	学習支援が適切に行えるようグループ席と個別席を用意している。	入所時に見学に行ったのみなので改めて見学に行きたい。	希望により、実施予定事業所内見学を実施していく。
	2	職員の適切な配置	子どもの特性に応じてマンツーマン対応も実施している。セラピスト、専門職の配置に加え、サポートスタッフも配置している。	入所時に見学に行ったのみなので改めて見学に行きたい。	希望により、実施予定事業所内見学を実施していく。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	学習支援に特化しており、バリアフリー化はしていない。安全対策としてマットを使用している。	入所時に見学に行ったのみなので改めて見学に行きたい。	希望により、実施予定事業所内見学を実施していく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	空間除菌やペーパータオルの使用、おもちゃ等の殺菌も行い、感染症対策をしている。	入所時に見学に行ったのみなので改めて見学に行きたい。	実施の状況を保護者に周知していく。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員に対し、参画の呼びかけを行っている。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施している。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部への研修に積極参加ができるよう費用を会社が負担している。内部では職員向け教材も多数用意している。また、専門職が社内講師となり、研修を行っている。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	児発管、担当指導員、セラピストで会議の場を持ち、計画を作成している。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	各項目を設け、計画を作成している。	適切に行われている。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	各項目を設け、計画を作成している。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画の内容を指導員が理解し、適切に支援している。	適切に行われている。	今後も継続して行ってい、質の向上を図っていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	プログラムの立案は管理職が行っている。プログラムの実行はセラピスト、専門職が中心となり行っている。		今後も継続して行ってい、質の向上を図っていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	学校休業日には、実習等を実施している。平日は放課後活動が有意義になるよう短時間で取り組めるプログラムや学習支援を実施している。	楽しんで登所している。	今後も継続して行ってい、質の向上を図っていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用者のニーズを取り入れプログラムを実施している。		今後も継続して行ってい、質の向上を図っていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	学習、セラピー、運動、自由時間等での支援について担当と決め、確認している。		今後も継続して行ってい、質の向上を図っていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	ケース記録記入時にその日の報告と情報共有を行っている。		今後も継続して行ってい、質の向上を図っていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	ケース記録、業務日誌を正確に記入している。		今後も継続して行ってい、質の向上を図っていく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリング期間を設け、実施している。同様に計画の見直しも行っている。		今後も継続して行ってい、質の向上を図っていく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	子どもの状況に精通した管理職が担当している。		今後も継続して行ってい、質の向上を図っていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象となる利用者がいない。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象となる利用者がいない。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	園や学校からの希望があれば対応している。		今後も継続して行ってい、質の向上を図っていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現時点では、対象者がいないため行っていない。		今後、学校卒業予定者のための情報提供は本人と保護者の承諾の下、実施予定である。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修等への参加は業務に支障のない範囲で参加を促進している。		今後も継続して行ってい、質の向上を図っていく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施していない。	現時点では保護者の希望の声が上がっていない。	一部保護者が難色を示しており、実施が難しい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	防犯上の問題から実施していない。	現時点では保護者の希望の声が上がっていない。	一部保護者が難色を示しており、実施が難しい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	必要に応じて説明を行っている。	丁寧な説明をしてもらっている。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	送迎時に行っている。難しい場合は電話での説明を行っている。	適切に行われている。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在は実施していない。	ペアレントトレーニングを受けたいと思っている。	希望により、実施予定。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳で日常的に行っている。	適切に行われている。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	管理職、セラピストが個別面談を行っている。	適切に相談や助言をしてもらっている。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在、実施していない。	現時点では保護者のニーズが少ない状況である。	共働き家庭が多く、保護者会の開催が難しい。また、保護者間連携の希望がない。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	管理職が対応している。家庭訪問を迅速に行い、適切に対応している。	適切に行われている。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	それぞれの特性に応じて対応している。	適切に行われている。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	SNSを活用して発信している。	SNSで発信されている。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付きの書類庫に保管している。オフラインのパソコンのみ扱う。情報はパソコン内に保存せず、USBにて保存、USBは金庫に保管している。	説明を受けている。十分注意されている。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを策定している。職員への周知徹底をしている。	適切に行われている。	今後も継続して、保護者への周知を徹底していく
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	火災、自信、不審者侵入に対応した訓練を行っている。	よくわからない。	実施状況をSNSや紙面を通して発信していき、保護者にも周知していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルに基づく職員研修を行っている。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体・生命に危険な場合は行っている。契約時に必ず説明をしており、必要な場合は保護者に許可を得ている。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書が提出されている子供がいないが、家庭からの指示があれば対応している。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	回覧し、捺印で共有を確認している。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。